

マイホーム横の夢空間

本庁支部 企画課技術調査室 河原健一郎

1. はじめに

そろそろ”土木行政について”だとか”現場紹介”をテーマに、技術屋的なことを書かないといけないなと思ってはいても、いざ書くとすると何も浮かばないわけですよ。

というわけで、今回も自由な投稿をさせていただきます。

2. マイホームが夢になるまで

私事で恐縮ですが、昨年3月にマイホームを購入しました。地元ハウスメーカーによる注文住宅です。

「夢のマイホーム」なんて言い方を良くされますが、私の場合、夢だと言えるほどの憧れはあまりありませんでした。

まず、家を買う事になったのはうちの妻（以下、カミさま）の一言からです。

「今日見てきた土地が良い土地だったので、ここに家を建てたい。」

気付けば私は、ハウスメーカーの方と打ち合わせをしていました。私は、まだそんなに乗り気ではありません。

「うちの会社は〇〇に□□を使っている」という話はそこそこに、家を建てるなら、どのような間取りにしたいかアンケートをとり、それを基に間取り図を作成し、後日打合せを行いたいとのこと。

カミさま主導で、間取りの希望を伝えていくのですが、途中、カミさまは私にこんな事を言いました。

「ビルトインガレージを間取りに加えたいでしょ？」

ガレージを持つのは、私の夢でした。大きなバイクに乗っているわけでもなく、車が好きなわけでもありませんが、自分専用の作業スペース・物置が欲しいと思っていました。

私は頷き、カミさまはガレージを間取りに加えるよう、ハウスメーカーに伝えます。

後日、ガレージスペースが入った間取り図（素案）が完成します。たしかその日です。「そこまで夢ではなかったマイホームが、なんか夢になってきた」のは。

そこから、私の気持ちも夢のマイホームに向けて動き出すのでした。

3. マイホームの完成

マイホーム完成に至るまで、詳細な仕様を決めるための打合せを何度も行いました。主導は、完全にカミさまです。時々、私のこだわりをぶつけてみますが、ダサいの何だの言い放たれまして、結局のところ、ほとんどがカミさま仕様になりました。私がやったことと言えば、契約書にサインすることとか、コンセントやスイッチの配置決め（重要）、玄関への木製庇（ひさし）の提案とか予算管理。そのくらい。



写真①：マイホーム

現場着工が11月で、それから4ヶ月後の3月下旬、ついにマイホームは完成しました。

4. マイホーム横の夢空間

先に言うておきます。ガレージが家の間取りに加わることはありませんでした。理想とするスペースを確保するのに、費用がかかり過ぎることが一番の原因で、ビルトインにそこまでのこだわりはなかったので、早々にあきらめました。その代わりに、マイホーム横のスペースに、ガレージを設置することになりました。（写真②）



写真②：マイホーム横の夢

現在、ガレージは物置と化してます。（写真③）

夢だったはずのガレージですが、使い方がよく分かりません。

ですが、カミさまより資金援助を受けまして、棚と作業台の製作にかかることにしました。（写真③の木材が材料）

これを書いている今日現在、まだ製作は行っていません。

明日から製作を行うつもりでして、皆さまに完成後をお見せできず非常に残念です。早く、作りたい！

5. さいごに

ページの終わりが見えてきまして、気持ちが作文から離れてきましたので、この辺で強制終了したいと思います。

ここまで読まれた方は、いらっしゃらないかとは思いますが、最後までこんな駄文にお付き合いいただきまして、ありがとうございました。

結局、何が言いたかったのか、私にも分かりません。



写真③：夢空間(?)